

自社事業と地域の観光ビジョン、将来展望を描く 観光・サービス業のDX戦略 (生産性向上と高付加価値化)

中小企業大学校
九州校開催

九州校

研修のねらい

九州の観光業は、コロナ渦の苦境から脱しつつあり、インバウンドの再興や拡大等から市場は右肩上がりにあるものの、受け入れ側となる事業者においては、生産性の向上や人手不足を補うための対策、サービスの質の向上、高付加価値化など顧客満足度を高めながら経営の安定化を図る経営体質づくりが求められています。

本研修では、個社ならびに面的なデジタル(DX化)活用として予約や顧客情報などの管理およびそのデータを活用した経営戦略づくりといった多様化する顧客ニーズを自社で管理し、「量から質の時代」へシフトするためのノウハウを学ぶとともに、地域の宿泊・飲食・体験・物販など多様な観光サービス事業者がグループ化を図り、面的なDXプラットフォームを導入することで、顧客満足度を高め、個社の収益力向上のためのビジネスモデルを考察していきます。

研修のポイント

- ✓ サービスの質の向上と高付加価値化、インバウンドを安定して誘客するためのノウハウを取得します。
- ✓ ワークショップ演習を通じて、生産性向上と売上・収益アップにつなげます。
- ✓ 観光業界の第一線で活躍する講師から具体的なアドバイスを受けることができます。

研修期間

2025年 2/26(水)～27(木)

(2日間、10時間)

対象者

経営者、経営幹部

- 宿泊業、観光サービスを営む企業幹部の方
(観光分野の新規参入を検討されている方を含む)
- DX戦略活用によるサービス向上を目指す方

定員 20名

受講料 19,000円(税込)

会場

中小企業大学校 九州校

福岡市博多区綱場町2番1号
博多FDビジネスセンター3階

月日	時間	科目・内容
2/26 水	12:40-13:00	開講式・オリエンテーション
	13:00-15:00	「顧客の視点」から捉える観光サービス経営の進め方 ● 旅まえ・旅なか・旅あとをシームレスに繋ぎファンを創出するための戦略 ● アフターコロナのインバウンド事情と旅行者への対応 講師 観光ビジネス総研株式会社 代表取締役 刀根 浩志 レインボウパブリッシング株式会社 代表取締役 川端 祥司
	15:00-17:00	まちで稼ぐ！観光地経営の基本的な考え方と必要なデジタルプラットフォームづくり(事例研究) ● デジタル化へのハードルを下げるとともに、自社事業の生産性向上と面的DXを通じて街在庫の最適化を実現した島根県出雲市等の先進事例 ● 地域単位におけるデータの可視化・CRM構築により地域全体の販売力を高め、持続性を高めるオンライン流通プラットフォームと活用事例 講師 TESHIO合同会社 代表 長岡 秀樹 <コーディネータ> 刀根 浩志 前掲 川端 祥司 前掲
2/27 木	10:00-12:00	自社の強みを活かしたおもてなし開発とDX戦略策定(演習／【個別相談】) 【ワークショップ】 ① 自社のおもてなし診断カルテ作成 ② 強みを活かした宿泊商品・おもてなし・サービス企画 ③ 自社のビジネスモデルをDXの視点で見直す(Googleマイビジネスプロフィールほかフリーで使えるデジタルツールの活用法を実践で学ぶ) ④ 自社と波長の合うターゲットを見出す ⑤ 販路の開拓・SNSを使ったファンづくり・情報のデジタル受発信 ⑥ 自社事業と地域の観光ビジョン、将来展望等「まちの観光地経営戦略とプラン」を描く
	13:00-17:00	※研修時間内に個別相談時間を設け、観光業界の第一線で活躍する講師から対応策について、具体的なアドバイスを受けることができます。 講師 刀根 浩志 前掲 川端 祥司 前掲 長岡 秀樹 前掲
	17:00-17:10	終講式

※カリキュラムは都合により変更する場合があります。予めご了承ください。

講師紹介(敬称略)



観光ビジネス総研株式会社
代表取締役

刀根 浩志



レインボウパブリッシング株式会社
代表取締役

川端 祥司



TESHIO合同会社

長岡 秀樹